

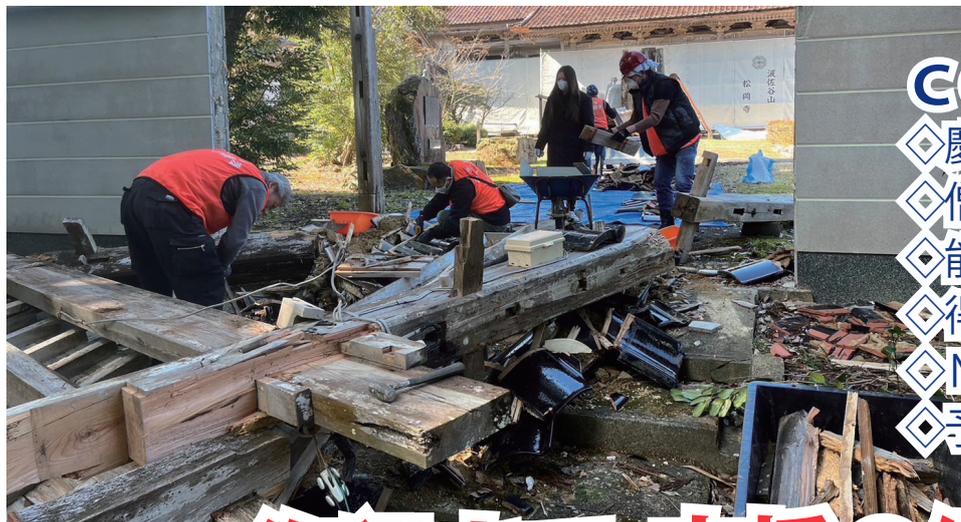
# 備後 教区報

183号

2024(令和6)年3月31日



ご縁を喜び、お念仏とともに



## CONTENTS

- ◆ 慶讃法要関連記事
- ◆ 僧侶研修会
- ◆ 能登半島地震緊急ルポ
- ◆ 得度考査について
- ◆ News & 活用情報
- ◆ 予報・インフォメーション

## 復興まで 支援の継続を



## 能登半島地震被害

石川教区鳳珠組 松岡寺住職インタビュー

災害支援初日に被災された松岡寺（波佐谷真充住職）をたずねた。松岡寺は珠洲市の高台に位置し、宝徳3（1451）年、蓮如上人開基と伝わる。その本堂は西本願寺阿弥陀堂と同規模（二十四間四方）で、初めて訪れた私は海に面した岬の様な所に突如として現れた阿弥陀堂に驚いた。

「石川は2007年にも地震が発生し、当時も多くの寺院が被災しました。それでも、何とか立ち直ろうと頑張ってきました。中には多くの借金をして、伽藍を再建した寺院もあったそうです。それが、ここへ来て更なる被害。もう精魂尽き果ててしまうような心境です。私のお預かりしています松岡寺は蓮如上人が開かれて、三男兼祐（連綱）に寺を譲られ、私で第22代になります。今回、幸いに本堂は無事でしたが、会館、山門、参道と大きな被害を受けました。この石川の地は大変にお念仏の信心の深いところなので、今回もご門徒方と励まし合い乗り切っていくと話しています。

しかしながら、この地も少子高齢化、そして過疎化の波は留まる事を知りません。

今はまだ何とかかかったとしても10年後には今、支えてくださる人達も歳を重ね、町には若者の姿は無くなると思えば不安が尽きませんが、私の代で出来る事を探りながら前を向いて進んで行くしかありません。」

# 芦田組慶讃法要



芦田組（立神義昭組長）の親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要と第50回芦田組仏教婦人大会が11月25日（土）、府中市ジーベックホールで営まれ、700名を超える僧侶や門信徒が参拝した。組内坊守・仏婦会員によって準備された「お供物」と「蓮の灯」で彩られた舞台上、宗祖讃仰作法音楽法要をお勤め。記念法話には龍谷大学准教授・本願寺派司教の井上見淳先生が「そのままの救い―聖人一流の世界―」と題して、仏縁の尊さを話した。また記念行事としてハンドベルの演奏、続いて姜暁艶さんによる二胡のコンサート。雅楽との共演ではサプライズで井上先生が再び登場し、歌を披露して会場を盛り上げた。

## ■一般寺院における法要記念品（御扱品）について

一般寺院における親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要ご修行に際しては、申請により記念品が交付されます。

### 【記念品について】

寺院：総長挨拶状  
慶祝記念品「壁掛け電波時計」  
(直径 307mm)

参拝者：参拝記念品  
「マグネットシート」(2枚1組)



- ※記念品交付は、本年（令和6年）12月までに法要ご修行の場合となります。
- ※申請書には「参拝記念品交付希望数」を必ず記入してください。

### 【申請について】

組長を経由して、「法要慶祝御扱交付申請書」を法要修行の2か月前までに教務所まで提出ください。

- ※申請書は宗派HPよりダウンロード可能です。パソコンからの印刷が難しい場合には、備後教区教務所へお問合せください。



# 2023(令和5)年度備後教区 僧侶研修会

2月13日(火)、御調東組照源寺(久本晃道住職) 門徒会館を会場に、備後教区僧侶研修会が開催された。ここ数年コロナ禍の影響で中止、リモート講義、または半日日程での開催等その時々状況に合わせての実施だったが今年は通常通り、午前、午後を通しての開催となった。

(文責・教区報専門委員)



午前中は、時代のニーズに即した講義と言えようか：SNS(ソーシャルネットワークサービス)を使つての寺院興隆やご門徒さんとのコミュニケーションを図ると云う内容だ。そして数あるSNSツールの中でも、講師の池田唯信先生は「公式LINE」を用いての発信に特化してお薦めくださった。かれこれ10年近く前であろうか?、拙寺組内のデジタルツールに詳しい後輩がいち早く、この公式LINEアカウントを設立して、寺院活動のアピールや若い人達にお寺に親しみを持つて貰おうと活用しているという話を聞いた。そして、彼は実際に有意義な結果を残しているとも聞く。だが、いかんせんデジタルと聞くと真つ先に苦手意識が先立ってしまう私は、興味がありながらズルズルと今日まで来てしまった。周りを見渡しても、

貰おうと活用しているという話を聞いた。そして、彼は実際に有意義な結果を残しているとも聞く。だが、いかんせんデジタルと聞くと真つ先に苦手意識が先立ってしまう私は、興味がありながらズルズルと今日まで来てしまった。周りを見渡しても、

## 午前の部 池田唯信先生 (大阪教区茨田組浄徳寺住職)

### 「もはや必須! LINEで変わる寺院のコミュニケーション」

お寺さんは二極化が顕著である。つまり、デジタル技術の有用性を早くから理解して積極的に取り入れている人と、一方で、私の様にその便利さを認めつつも、なかなか頭が固くて使いこなせていない、挙げ句の果てには、「やっぱデジタルには温かみがない。人との触れ合いはアナログが基本」などと、のたまう人間。そんな中、先生はLINE等のツールの有用性に焦点を当てながら、ひとつちにSNSと言っても、その特徴から大きく分けて、待ち型(PULL)、攻め型(PUSH)に分類され、その中でもLINEは左記(図)等の特徴、利点を上げつつ丁寧に説明してくださいました。

- A: 待ち型 (PULL): 代表例 / Facebook、YouTube、instagram、X(旧 Twitter) 等  
 B: 攻め型 (PUSH): 代表例 / LINE、メールマガジン等
- < LINE の特徴 >
- ① 9600 万人以上のユーザー
  - ② 開封率 60% 以上
  - ③ 見させる (攻める) 事が可能
  - ④ ユーザーとの関係性を深めるのに効果的
  - ⑤ 無料からスタート出来る

…と、ここまで聞いて非常に有用な事は理解したが、やはり具体的にはどう活用すべきなのが分からないと言った参加者も多かったのではなからうか。(私もそのひとり)。つまりは、こう言つたツールは、結局は月並みながら、「習うより慣れる」という事なのだろう。しかし、(意外と言つたら失礼ながら)当日は年配の方のご参加も多く、皆様に熱心に耳を傾けておられた。その中には今後のお寺の在り方、布教法の是非を問う思いのある事は間違いのない。また、先生は当日の説明のみならず、ご自身のLINEアカウントに登録した人に対して、継続的なアドバイスをされている。「習うより慣れる」何度も手を動かして実践せよ」とフォロー体制も万全なのである。今後も引き続き、時代に即した寺院のコミュニケーション法を学ばせて頂きたいと思う。



# 僧侶研修会



深川宣暢先生

本願寺派勸学 / 龍谷大学名誉教授  
山口教区大津東組 西念寺住職

# 午後の部 「真宗の信心・安心と領解」

機(衆生の側)からいうと領解(安心)となる。また、その救いのありさまを如来側では「摂取不捨」、衆生側では「仏恩報謝」と頂くべきであるとも示された。また、今回先生は浄土真宗の立教開宗と『教行信証』の教義についても並行してお話しくださり、それ故に講義内容はなかなか難しく浅学の我が身には厳しいものとなった。

しかし、そのお話を改めて思い返してみると、宗祖にはそもそも開宗のご意図はなかった事を『源空讃』より紐解いてくださり、「仏道は弟子道」を宗祖自ら実践し、『教行信証』は法然聖人の『選択本願念仏集』の大論証の書に他ならないと教えてくださった。

基本的な事だが、これは宗祖の生涯を貫く姿勢であり、非常に大切な事と学ばせて頂いた。

また、いつもながら先生の比喩は非常に的を得て分かりやすく、「領解」の表現に触れて、「こほり(氷)煩惱」おおきに水(救い、悟り)おおきの

和讃もあるが、皆さんも知っての通り、氷も水も湯気も化学式は「H<sub>2</sub>O」である事は明白です。しかし、物質としての状態は異なる。「領解」とはあくまで我々の頂き方の姿の問題です。私達は今、煩惱を抱えたままにご縁を頂き仏と成って往く人生を歩むことになった。その私達に名号となつて何時でも何処でも既に届いてくださる如来さまです。」

と力強く締めくくられた。

また、先生は最後に備龍会発行の「お聴聞手帖」を手に取って、「これを拝見しましたが、非常に優れた出来栄ですな。頁末の『領解文』の解釈が、これまで素晴らしい。これで良いのです。備龍会、なかなかやるな！と見直しました。単に集まつて酒を呑むだけの会では無いんですな。」

と言つて笑わせてもくださった。質疑応答でも活発な意見が交わされ、午前、午後のご講義併せて非常に有意義な一日となつた。部会の方々、会所寺院の皆様にも深く感謝を表したい。



様にも深く感謝を表したい。

午後からは本願寺勸学深川宣暢先生にお話いただいた。まず、「領解文」とは、大谷派では「改悔文(かいげもん)」とも称され、僧侶・門信徒が浄土真宗の救いをうけた信心の理解を口に出して述べるように、本願寺第8代の宗主・蓮如上人が作られたとされる文章であると明らかにされた。つまり、領解とはあくまで、真宗の「真実信心」を衆生(私)の上で語ることを示された。「南無阿弥陀仏」を約仏・約法(如来の側)から語ればそのおはたらきは救済であり、約生・約

# 瀬戸の恩返し

## 緊急ルポ 石川県能登半島地震災害支援最前線より

令和6年元日16時10分、石川県能登半島沖でM7.6の地震が発生した。これを受けて1月6日には、本派石川教区金沢別院(通称西別院)内に災害支援センターが設置された。備後教区でも緊急に災害委員会を開催。被災教区に対する見舞い金交付を決定。1月下旬に備龍会が支援物資を募り発送。3月には「震災支援ネットびんご」も現地ボランティアなど行われた。その間、教区2回目の災害対策委員会を経た頃、私は単身での支援を思い立ち現地向かった。その様子を後続のためにレポートする。(教区報専門委員・松井一昭)

### 備後から金沢別院へ

自家用車で出発。新幹線とサンダーバードを乗り継いで行く方法もあったが、後進が数名車に乗り合わせて今後支援入りする事を考えて、その参考になればと敢えて車での移動を選択した。

第1日 2月16日(金)  
9時 福山を出発

山陽道 福山東IC↓  
若狭舞鶴道経由↓  
北陸道 金沢西IC↓  
15時 金沢別院に到着  
(料金1万3000円)  
(所要時間6時間)



前もって連絡を取り合っていた安芸教区職員で災害コーディネーターの坂山氏と合流。18時からのセンターミーティングに参加する。宿泊は別院内、貸し出しの寝具で皆に混ざって就寝。川井センター長の「緊急時に備えてテレビは点けっ放しで」の一言で一瞬にして緊張感が高まり、結局一睡も出来ずに朝を迎える。

ター長の一瞬  
急時に備え  
てテレビは点  
けっ放しで  
の一言で一瞬  
にして緊張感  
が高まり、結  
局一睡も出来  
ずに朝を迎え  
る。

### 半島縦断、松岡寺へ

第2日 2月17日(土)

6時15分 金沢別院 発  
能登町 高源寺 経由  
10時 能登町 松岡寺 着  
会館内の畳撤去、  
山門解体、  
撤去作業に従事

14時半 松岡寺 発  
18時 金沢別院 着

### 支援物資の搬送

3日目、金沢別院を出発し、能登町の斉和コミュニティセンター(以下 斉和コミ)へ支援物資を搬送する。現地へのアクセスは可能となったが、未だ道路状況も悪く、各所で渋滞が発生し、時間的ロスも多い状態が続いている。

第3日 2月18日(日)

8時 金沢別院 発↓  
10時半 斉和コミ 着  
12時 斉和コミ 発↓  
14時半 別院 着

17時 ミーティング後 解散  
物資の仕分け、  
救援車の洗車、  
別院の清掃作業



▲ 支援センターの移動式簡易トイレ



### 輪島市単独取材

第4日 2月19日(月)

単独で取材活動

輪島市朝市 焼失跡地へ

7時 金沢別院 発↓

11時 輪島市 着

その現状に言葉を失う。

某雑誌カメラマンと一緒に、いろいろなと教えてもらおう。聞くところによると、規制線が解かれたのは、つい一昨日でそれまでは現場に踏み込む事が出来なかったそう。

思わずヘルメットを被るのも忘れて夢中になってシャッターを切っていると5階建ての廃墟ビルから大きな窓ガラスが落下。咄嗟に飛び退いて事なきを得たが、危うく大ケガをするところだった。現場では常に危険がつきまとう。帰路は七尾市を経由して、18時に別院着



### 能登島 浄尊寺へ

昨夕から降り続く雨の中、築地本願寺、西本願寺からの職員方数名とチームを組む。

第5日 2月20日(火)

7時 金沢別院発↓

9時半 浄尊寺 着

瓦礫撤去、山門運搬等に從事

15時半 浄尊寺 発↓

18時 金沢別院 着



### 鈍色の海を見つめながら

遂に帰路に着いた私は、土砂降りの中、荒々しい波が寄せる日本海を横目にひたすら車を走らせた。この景色を祖師も蓮師も何度も眺められた事だろう。特に親鸞さまは、この海の雄大さを阿弥陀さまの大きい慈悲に譬えて、『正信偈』中に示して下さいました。そして、松岡寺のご住職の言葉は重かった。その眼は遠く海を見つめておられた様だった。今回、学んだ事がある。それは、寺院存続の大危機と言われる時代において、伽藍や仏具の損壊はその第二番目の課題だと言う事。一番の課題は、人…。特に

北陸三県は浄土真宗の盛んな地域とされ、石川県だけでも大谷派806カ寺、本派98カ寺を数えるほど真宗寺院が多い。今回の地震でその殆どの寺院が被災した。私が関わったのはその僅か一部にすぎない。第6日目、2月21日(水)、土砂降りの雨のなか、後ろ髪を引かれる思いで帰路についた。一気に緊張が解けたのか、体調が悪くなる。何度もSAで仮眠をとりながら、やっとの思いで帰還。7時に別院を出発し、18時に福山の自宅に着いた。往路は6時間だったが、帰路は11時間掛かった。

若い世代にお念仏の救いが伝わらなくなってしまう事ではなからうか。インタビューを受けて下さった松岡寺の波佐谷住職も未来、次の世代の事を考えるとその声は曇りがちだった様に思う。この事は、今回の被災地石川教区他近隣地域だけの問題ではあるまい。若い世代に今、何かを伝えねばならない。手遅れになってしまう前に。

## 瀬戸の恩返しとは？

2018年の瀬戸内豪雨被害時、私は自坊で當む寺子屋塾生、卒業生、仏教青年部の仲間と連日被災地（主に三原市本郷地区、倉敷市真備地区）支援ボランティア活動に従事した。その時、本当に全国各地から命がけて瀬戸内のために駆けつけて下さった多くの人達にお会いして、感謝の気持ちでいっぱいだった。

「皆さん、どうしてそんな遠方から、この瀬戸内の支援に来てくださったんですか？」と尋ねると、彼らは口々に、

「我々はかつての被災地から来たのです。和歌山、宮城、東京、熊本…当時は大変な被害で私達はただ震えて縮こまって居るしか無かった。そんな中、全国からの支援物資やボランティアの活動にどれだけ励まされた事でしょう。」

そしてその時、心に決めていたのです。今は何も出来ず、助けて頂くばかりだけど、今後我が町が元を取り戻したら、その時は何処かお困りの地があれば、真っ先に駆けつけようと…。そして、今日がその日なのです」と。

私は、心の中で彼らに深々と頭を下げた。

その後、寺院や、大学の講堂、或いは老人福祉施設での再三のご法話の縁の際には、

「わが町、瀬戸内の本当の復活とは何か？ 落ちた橋桁や倒れたビル、損壊した家屋が修復され、人々の暮らしが元に戻る事だけではない。その上で、この瀬戸内から次に困っている人達の支援に駆けつける事が出来た時、初めて瀬戸は復興を遂げたと言えるのではないのでしょうか？」

と、お話させて頂いた。その約束を果たすべく今回、先ずはなりふり構わず、備後の先陣を切らせて頂いた。可能ならば、今度は備龍会の若手や仏教青年部の仲間達と一緒に再度支援活動に赴きたい。そして、自教区においても今回学んだ事「次なる世代に何を遺すのか」を伝え、ともに手を取り合って行きたいと願うばかりである。



支援センターの様子

## 最後に

宗派をはじめ石川教区現地本部（中村祐順本部長）、現地本部や支援センター職員のご苦勞には敬服するばかりである。私が現地入りした時には、ほぼ本派寺院の被害全容とアクセス状況が把握され、支援物資の配送（初期必要分）もほぼ完了した状態だった。しかしながら、本当に初期の段階では何も情報が無く、余震も頻発する中での手探りでの活動は想像を絶するものである。また、今回私が参加した間にも、全国から僧侶以外の方々が別院の支援チームに申し込まれ、ボランティアに勤しんでおられた。最早若いとは言えない私よりも、更に年長の人達だった。僧侶も一般の人も垣根を超えての活動。彼らのご無事を念じながら、ペンを置く事にする。





## 得度習礼・得度式（西山別院）までの流れ

2020年度より、得度の手続きが変更となりました。得度を希望される方は、流れを把握し、早めに必要書類を整えられるようにしてください。

なお、2020年度以前に得度習礼を受ける資格を取得されている方は、特例措置がありますので教務所に確認してください。

卒業後出願可能（卒業年次の仮出願も可）  
得度講習会免除 得度審査免除  
免除の有効期限は卒業した日から3年間



(※1)

**大学**=武蔵野大学、相愛大学、筑紫女学園大学、九州龍谷短期大学  
**高等学校**=旭川龍谷高等学校、札幌龍谷学園高等学校、相愛高等学校、龍谷大学付属平安高等学校、崇徳高等学校、敬愛高等学校、龍谷高等学校

必要書類を添えて申請

得度習礼・得度式

卒業後出願可能  
得度講習会免除 得度審査免除  
免除の有効期限は卒業した日から3年間



在学中出願可能  
(通信教育専修課程は、卒業後出願可能)

得度講習会免除 得度審査免除

免除の有効期限は卒業した日から3年間

(※2)

中央仏教学院、東京仏教学院、行信教校、広島仏教学院

必要書類を添えて申請

得度習礼・得度式

一般

得度講習会（受講義務）

- 1, 宗制の大意
- 2, 仏教の基礎知識
- 3, 法式規範の基礎知識
- 4, 勤式作法の基礎

得度講習会修了証  
(有効期限3年間)

得度審査（受験義務）

- (1) 筆記
  - 1, 宗制の大意
  - 2, 仏教の基礎知識
  - 3, 法式規範の基礎知識
- (2) 実演
  - 1, 正信偈和讃
  - 2, 御文章
  - 3, 被着法（黒衣・五条袈裟）
- (3) 口述
  - ・得度習礼及び得度式に臨む意志等について

得度審査会にて合否判定

得度審査合格証有効期限3年間

必要書類を添えて申請

得度習礼・得度式

- ・得度講習会は、宗務所では年6回以上開催
- ・教務所では毎年1回以上開催
- ・期間は3日間または2泊3日程度

不合格者は再度得度審査を受けます。その際、得度講習会の講習は任意です。

得度審査合格証が届くまで、1ヶ月かかります。

詳細は教務所にお尋ねください。定員になり次第、募集は締め切られます。近年では早くに定員になる傾向がありますので、早めに書類を整えられますようお願いいたします。

# 新しい時代の念仏者養成のための 人権に関する連続研修

## (養成研 第5回)

第5回の人権に関する連続研修は、「宗門の歴史と部落差別」。基礎的な知識の確認ということで、歴史的課題について起源論から社会意識の変遷を客観的にたどってゆき、部落差別と宗門との関係を体系的に学ぶ機会となりました。

2016年に施行された法律には、「現在もなお部落差別が存在する」という認識のもと、「部落差別のない社会を実現することを目的とする」と第一条にあります。今なお差別が存在することを明記しているということは、黙って解消する問題ではなく、学び意識的に差別をやめていくことが必要だと理解しました。

私は部落差別について学ぶことで、無意識に刷り込まれていたことに気づかされました。気づかされたことで、時に浮かぶ感情は誤っているのだと自身の持つ差別心を認知し自覚的に否定する作業をすることになりました。

なぜ学ぶのか、なぜ学ばなければならぬのかという問いの答えのひとつなのだと思います。また、歴史的に部落差別を利用してきた宗門の歴史も踏まえれば、今なお表出する差別の問題へもつながることではないでしょうか。ご一緒に自分の暗闇を見つめてみませんか。

（2月9日（金）開催）

## News & 活動情報



子ども報恩講「お寺の子どものつどい」

寺婦

12月2日（土）、寺族婦人会連盟（龍華佳穂委員長）主催にて、「お寺の子どものつどい」を開催し、こども17名を含む32名が参加した。

午前中は供物作りとして蓮の花の灯明を作成し、昼食をはさんでその後からは、参加の子どもたちが自身で作った蓮の花を尊前にお供えし、子ども報恩講をお勤めました。

代表出勤の子どもたちは一様に緊張した表情であったが、法要がはじまると、皆大きな声でらいはいのうたをお勤していた。法要後は、松井一昭住職（深津組慶満寺）よりご法話をいただき、最後はレクレーションのゲームを楽しんだ。

### 同朋社会部会

### 憲法問題を考える研究会

12月4日（月）、憲法問題を考える研究会を本願寺備後教堂にて開催した。講師には、自然農家・VFPジャパン共同代表の形川健一先生をお招きし、「元自衛官が見た南西諸島と西日本各地の現状〜日本国憲法の上にある日米地位協定」をテーマに講義をいただき、21名が憲法問題について学びを深める機会となった。

## 教区月報12月〜3月

### 12月 (December)

- 2日 子ども報恩講
- 4日 同朋社会部会
- 憲法問題に関する研究会
- 6日 新しい領解文に学ぶ学習会
- 11日 教堂常例法座
- 15日 子ども若者ご縁づくり推進委
- 18日 組長会
- 19日 布教団団長・副団長会議
- 23日 仏壮理事会
- 仏青美化文化部

### 令和6年 1月 (January)

- 10日 参与会幹事会
- 11日 教堂常例法座
- 12日 門推三役会
- 15日 災害対策委員会
- 18日 門信徒部会
- 19日 同朋社会部会
- 22日 青年布教大会・青年布教使研修
- 23日 門推世話人会
- 広報伝道部会
- 蓮の実委員会
- 25日 子ども若者ご縁づくり推進委
- 26日 おつとめ教室・勤式練習会
- 27日 ビハーラ全国集会（〜28日）
- 29日 人権問題現地学習会
- 31日 布教団役員会

### 布教団 青年布教大会

1月22日(月)、本願寺  
備後教堂にて、布教団青年  
布教使の会(山下瑞円代表)  
主催による布教大会を本願  
寺備後教堂にて開催した。

《出向者は左記の通り》

- 第一席目 福間 願 団員
- 第二席目 塩田 信成 団員
- 第三席目 金岡 恒宣 団員
- まとめ法話 田井 智彦副団長



### ビハークラ ビハークラ集会

1月27日(土)～28日(日)、親鸞  
聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇  
年慶讃法要記念第18回ビハークラ活動全  
国集会在京都・本願寺にて開催された。

1日目は、基調講演講師・慶應義塾  
大学経済学部教授の井手英策先生より  
「ライフセキユリテイ〈希望と責任を  
分かち合う社会〉への提言」と題して  
講義をいただき、2日目には、全12テ  
マを基に分科会が開かれた。

集会テーマである「日常の中にある  
ビハークラの種を見出す」を参加者で共  
有するご縁となった。

### 広報伝道部会 真宗講座

2月6日(火)、  
第34回真宗講座が  
本願寺備後教堂にて開催された。教区内外僧侶・門  
徒あわせて28名が参加した。大阪教区南郡組正満寺  
前任職・本願寺派布教使の安方哲爾先生より、『教  
行信証』信巻の内容について講義をいただいた。  
信巻の講義は、次年度の第35回(4月22日)及び  
第36回(10月3日)にも開催される予定だ。

### 矯正教化

### 広島管区支部教誨師研修会

2月7日(水)～8日  
(木)、矯正教化連盟広島  
管区支部教誨師研修会を  
備後教区担当にて開催

し、ブロック内各教区より教誨師16名が  
参加した。

1日目は、本願寺備後教堂にて岡山保  
護観察所保護観察官である金島智之先生  
に「刑務所における福祉支援」と題して  
講義をいただいた。2日目は、尾道刑務  
支所・有井構外泊込作業所を視察した。



### 同朋社会部会

### 人権問題現地学習会

1月29日(月)、人権についての様々な問題を考えるため、学  
校法人広島朝鮮学園広島朝鮮初中高級学校を訪ね人権問題現地学  
習会を開催した。12名の参加者は、各クラスの授業を参観した後、  
講師より、学校法人広島朝鮮学園の歴史と現状を踏まえた講義を  
受け、学校の先生方と意見を交わし、実りある学習会となった。

### 2月 (February)

- 6日 第34回真宗講座
- 7日 矯正教化広島管区支部研修会  
(～8日 備後教堂)
- 9日 養成研
- 11日 教堂常例法座
- 13日 僧侶研修会(御調束組照源寺)
- 14日 実践運動事業検討委員会
- 16日 おつとめ教室・勤式練習会
- 20日 勤式研修会
- 21日 門推推進員交流会  
(尾道ふれあいの里 ～22日)
- 26日 常備会
- 27日 布教団臨時総会
- 28日 しまなみサイクリング会議

### 3月 (March)

- 1日 組勤式推進員協議会
- 4日 組長会
- 5日 仏婦新旧役員会
- 6日 おつとめ教室・勤式練習会
- 7日 しまなみサイクリング下見
- 8日 第4連区教化連絡協議会
- 8日 門推世話人会
- 9日 連研履修者のつどい
- 11日 ほほえみ講座
- 11日 教堂常例法座
- 13日 布教団団長・副団長会議
- 13日 得度講習会(～14日)
- 15日 得度考查

### 勤式 教区勤式研修会

2月20日(火)、本願寺備後教堂にて勤式研修会を開催し、教区内僧侶寺族35名が参加した。

本年度は本願寺式務部より工藤惇昭会役者にご出講いただき、「お給仕の心得・作法について」をテーマにお話しいただいた。

普段なかなか見ることのない本願寺の御堂でのお給仕を聞いたり、一般寺院における日常の荘厳や作法について学びを深めた。

### 門信徒部会

#### 連研履修者のつどい

3月8日(金)、本願寺備後教堂にて、中央教修への受講奨励を目的とした連研履修者のつどいを開催した。まず3名の門徒推進員より中央教修の様子や門徒推進員に登録されてからの所属寺や組・教区での活動について発表いただいた。体験発表後は、苅屋光影連研中央講師(深津組光行寺)より中央教修後の門徒推進員の具体的な役割や願いを明示する「門徒推進員という生き方」の策定経緯を説明いただいたうえで、これからの連研・これからの門徒推進員について、藤本直樹門信徒部会長(奥組増福寺)の座長進行のもと全体会を行った。

### 布教団

#### 部門別・実践運動研修会

2月27日(火)、本願寺備後教堂にて、布教団部門別・実践運動研修会を開催した。実践運動研修会では、元ビハーラ備後会長で門徒推進員の桜田淑子先生より「『ビハーラ活動』〜言葉・まなざし・自然〜」と題し、ご自身の経験から、ともに寄り添うことの大切さについてお話しをいただいた。

部門別研修では、児童養護施設光明童園の堀浄信施設長にお越しいただき、「子どもたちの笑顔のために〜児童養護施設の現場から〜」と題し、宗門重点プロジェクト「貧困の克服に向けて〜Dana for World Peace〜



子どもたちを育むために」を踏まえ、現代の子どもたちがおかれている現状、また貧困克服に向けた取り組みなどお話しいただいた。

### 仏婦 ほほえみ講座

3月9日(土)、仏教婦人会連盟(近藤映子委員長)主催、若婦人専門委員会の企画運営にて「ほほえみ講座」を開催し、21名が参加した。今回はコロナ禍明け久しぶりに午後半日での開催となった。まず本願寺派布教使の山名諒子師(菅田組西圓寺)よりご講話「お念仏に生かされて」にてご講話をいただき、その後は、ヨガインストラクターの篠原加緒里先生より、体への負担が少なく誰でも気軽に楽しむことのできる椅子ヨガを指導いただいた。



- 18日 蓮の実編集委員会
- 21日 子ども・若者ご縁づくり推進委
- 22日 教堂責役総代会
- 25日 定期教区会
- 26日 参与会総会聞法会
- 29日 しまなみサイクリング大会

### 親善バレーボール大会

3月28日(木)、備龍会主催のソフトバレーボール大会が府中市アリーナ体育館で開催された。当初はソフトボール大会の予定であったが、雨天のため急遽変更されたの大会となった。子どもたちや若手僧侶が多数参加して賑やかに開催された。



子ども若者で縁づくり



しまなみサイクリング

3月29日(金)、子ども・若者ご縁づくり推進委員会(福岡真也委員長)主催でサイクリング大会が開催された。

今回はしまなみ海道70kmを自転車で全走破する企画とした。

当日は天候にも恵まれ、沼隈西組西明寺(赤柴証悟住職)での開会式の後、バスで今治に向かい、そこから尾道までを中学生以上の一般参加42名、及び並走スタッフ含めて50名以上が桜咲くなかで海を渡るサイクリングを楽しんだ。

今後の予定

4月(April)

3日 仏壯監査

8日 仏婦監査

11日 教堂常例法座

12日 仏婦総会・幹部研修会(神辺文化会館)

14日 仏壯総会・研修会

15日 おつとめ教室・勤式練習会

第4連区少年連盟連絡協議会(塩屋別院 16日)

22日 第35回真宗講座

23日 布教団団長・副団長会議

25日 仏婦総連盟総会(本願寺)

26日 寺婦若婦人研修会(御調東組 照源寺)

30日 組長会

5月(May)

1日 門推世話人会

8日 第5ブロック保育連盟連絡協議会(山口別院 9日)

9日 中四国ブロック寺族

11日 青年野球大会(山口教区)

14日 教堂常例法座

25日 おつとめ教室・勤式練習会

第4連区仏壯連絡協議会(四州教区 26日)

29日 布教団役員会

得度許可

おめでとう  
ございます

御調東組 円龍寺

【敬称略】

池上 慧(釋慧珠)

令和5年10月11日付

敬弔

お悔やみ申し  
上げます

中組 西明寺 住職

實相 寛信(12月23日寂)

御調西組 正明寺

西村 勝(1月23日寂)

三谿組 光澤寺 前任職

澤井 隆三(2月27日寂)

沼隈南組 西光寺 前任職

箱田 義秀(3月22日寂)

香典返礼

ありがとうございます  
ございます

比婆組 妙延寺 様

中組 西明寺 様

常例法座

(毎月11日)

出講者(敬称略)

4月 「如来本願の真意」

福山市加茂町 照専寺 佐々木至成

5月 「はやく後生の一大事を心にかけて」

庄原市高野町 西教寺 藤井 義英

6月 「どこへ向いて行つとるん!」

福山市沼隈町 光源寺 北山 祐章

編集後記

コロナ禍を経て仏縁に遇うご縁が多様化しています。本堂に参つてお聴聞していた法話もネット上に沢山流れていて、本堂に行かなくてもお聴聞ができる環境が整いました。また僧侶が実名でSNS発信することも増え、誰でも気軽に繋がることもできる時代となりました。「お寺と御門徒」という関係に加え、これからは「僧侶と個人」という関係性の中で仏縁を繋いでいくことが一層求められていくことが予想されます。僧侶1人が出来る事は僅かな事ですが、各々が一つ一つの仏縁を丁寧に紡いでいくことが大切だと思います。(E. Y)

令和6年度	おつとめ教室	勤式練習会
日程	13:00 ~ 14:30	15:00 ~ 16:30
第1回	4/15(月) 正信偈 草譜	正信偈 草譜
第2回	5/14(火) 正信偈 行譜	正信偈 行譜
第3回	6/12(水) // 和讃六首引	頭発音画譜
第4回	7/ 4(木) 大師影供作法	三奉請・頂礼文
第5回	9/13(金) 大師影供作法	先請伽陀

参加費 各回 500円 於 備後教堂  
令和6年度の第1~5回の勤式練習会は  
【巡讃許可申請資格試験講習会向け】